
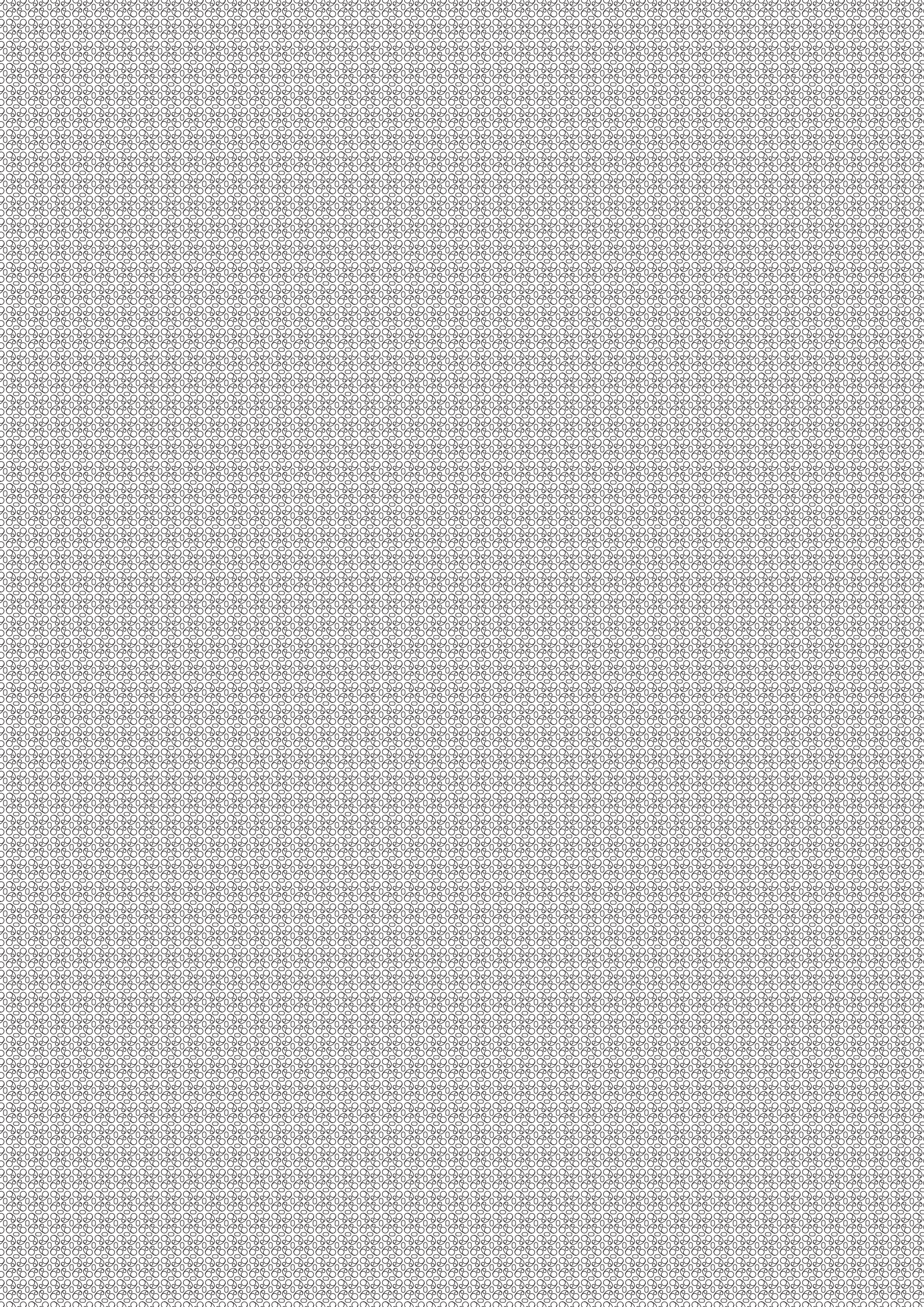


数 学

注 意

- 1 問題は **1** から **4** までで、4 ページにわたって印刷してあります。
また、解答用紙は両面に印刷してあります。
- 2 検査時間は 50 分で、終わりは午前 11 時 10 分です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答は全て解答用紙に HB または B の鉛筆（シャープペンシルも可）を使って明確に記入し、解答用紙だけを提出しなさい。
- 5 答えに根号が含まれるときは、根号を付けたまま、分母に根号を含まない形で表しなさい。また、根号の中を最も小さい自然数にしなさい。
- 6 答えは解答用紙の決められた欄からはみ出さないように書きなさい。
- 7 解答を直すときは、きれいに消してから、消しくずを残さないようにして、新しい解答を書きなさい。
- 8 受検番号を解答用紙の表面と裏面の決められた欄に書き、表面については、その数字の  の中を正確に塗りつぶしなさい。
- 9 解答用紙は、汚したり、折り曲げたりしてはいけません。



1 次の各問に答えよ。

〔問1〕 $x = \sqrt{3} + \sqrt{2}$, $y = \sqrt{3} - \sqrt{2}$ のとき, $x^2 - y^2$ の値^{あた}を求めよ。

〔問2〕 連立方程式 $\begin{cases} x + y = 10 \\ 3x - 2y = 10 \end{cases}$ を解け。

〔問3〕 二次方程式 $(2x - 5)^2 - 9 = 0$ を解け。

〔問4〕 右の図1のように, 1辺の長さが6 cm の正三角形4個を正三角形の辺がそれぞれ x cm ずつ重なるように横1列に並べてできた図形がある。

太線(—)で示した図形の周の長さを y cm とするとき, y を x を用いた式で表せ。

図1



〔問5〕 1から6までの目が出る大小1つずつのさいころを同時に1回投げる。

大きいさいころの出た目の数を a , 小さいさいころの出た目の数を b とする。

$\frac{a}{b}$ または $\frac{b}{a}$ が整数になる確率を求めよ。

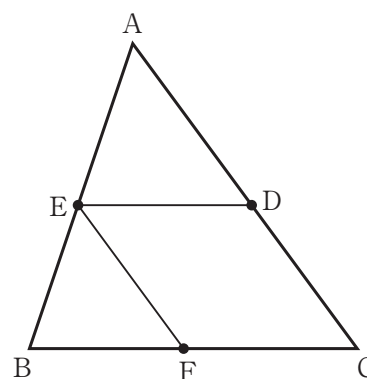
ただし, 大小2つのさいころはともに, 1から6までのどの目が出ることも同様に確からしいものとする。

〔問6〕 右の図2は, $\triangle ABC$ の辺 AC 上にある点を D , 辺 AB 上にある点を E , 辺 BC 上にある点を F としたとき, 四角形 $CDEF$ がひし形になる場合を表したものである。

解答欄^{かいとうらん}に示した図をもとにして, ひし形 $CDEF$ を, 定規とコンパスを用いて作図し, 頂点 D, E, F の位置を示す文字 D, E, F も書け。

ただし, 作図に用いた線は消さないでおくこと。

図2



2 右の図1で、点Oは原点、曲線 m は

関数 $y = \frac{a}{x}$ ($a > 0$) のグラフを表している。

点Aは曲線 m 上にあり、 x 座標は2である。

次の各問に答えよ。

〔問1〕 $a = \frac{3}{4}$ のとき、点Aの y 座標を求めよ。

〔問2〕 関数 $y = a^2 x^2$ のグラフが点Aを通る場合を考える。

正の数 a の値^{あた}を求めよ。

〔問3〕 右の図2は、図1において、 $a = 6$ のとき、

曲線 m 上にあり、 x 座標が4である点をB、
点Oと点Aを結んだ直線OAに平行な直線で
点Bを通る直線と y 軸との交点をCとし、
点Aと点B、点Aと点Cをそれぞれ結んだ
場合を表している。

点Oから点(1, 0)までの距離^{きょり}、および点O
から点(0, 1)までの距離をそれぞれ1 cm と
して、次の(1)、(2)に答えよ。

(1) 直線ABの傾きを求めよ。

(2) $\triangle ABC$ の面積は何 cm^2 か。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、
途中の式や計算なども書け。

図1

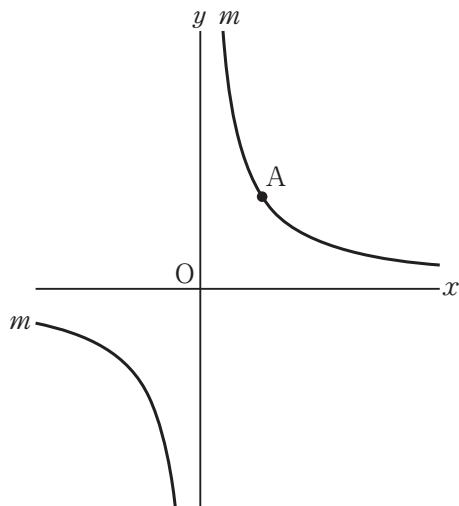
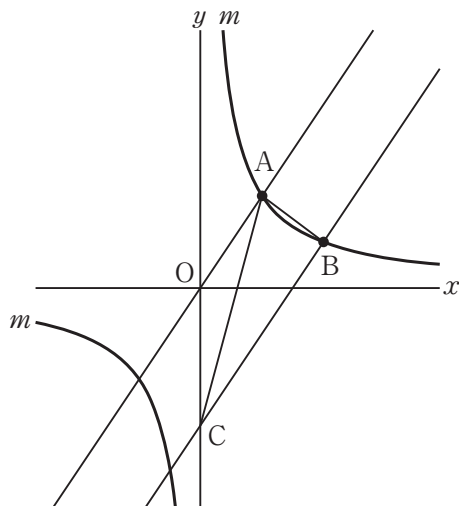


図2



3 右の図1で、 $\triangle ABC$ は $AB = AC$ 、 $\angle BAC$ が鋭角の二等辺三角形である。

点 O は $\triangle ABC$ の3つの頂点 A 、 B 、 C を通る円の中心である。

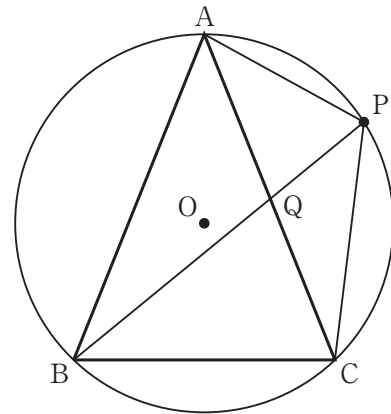
点 P は、頂点 B を含まない \widehat{AC} 上にある点で、頂点 A 、頂点 C のいずれにも一致しない。

頂点 A と点 P 、頂点 B と点 P 、頂点 C と点 P をそれぞれ結ぶ。

辺 AC と線分 BP との交点を Q とする。

次の各問に答えよ。

図1



〔問1〕 図1において、 $\angle BAC = \angle CAP$ とするとき、次の (1)、(2) に答えよ。

(1) $\angle BAC = 40^\circ$ のとき、 $\angle AQP$ の大きさは何度か。

(2) $\triangle ABQ \equiv \triangle ACP$ であることを証明せよ。

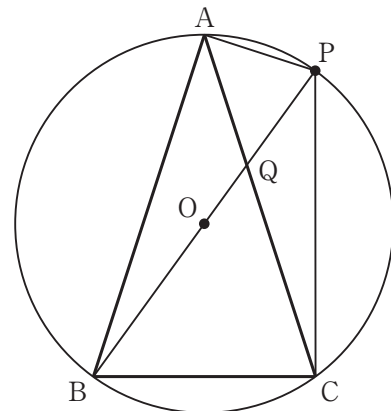
〔問2〕 図1において、 $\angle ABP = \angle PBC$ で、 $AB = 12$ cm、 $BC = 3$ cm、 $AP = CP = 8$ cm とする。

線分 BQ の長さ と線分 QP の長さの比を最も簡単な整数の比で表せ。

〔問3〕 右の図2は、図1において、線分 BP が点 O を通り、 $PA = PQ$ である場合を表している。

$BO = 9$ cm、 $\angle BQC = 54^\circ$ のとき、頂点 A を含まない \widehat{BC} の長さは何 cm か。ただし、円周率は π とする。

図2



4 右の図1で、立体 $ABCD-EFGH$ は1辺の長さが6 cm の立方体である。

1辺が6 cm の正方形の2つの対角線の長さはそれぞれ $6\sqrt{2}$ cm である。

次の各問に答えよ。

〔問1〕 立体 $ABCD-EFGH$ の全ての面に接する球を考える。

球の表面積は何 cm^2 か。

ただし、円周率は π とする。

〔問2〕 平面 ACF と平面 BEG が交わってできる直線で、立体の内部にできる線分の長さは何 cm か。

〔問3〕 右の図2は、図1において、辺 AE 上にあり、頂点 A と頂点 E のどちらにも一致しない点を I 、頂点 D と点 I を結んだ直線 DI と辺 HE を頂点 E の方向に延ばした直線との交点を J 、点 J と頂点 F を結んだ直線と辺 HG を頂点 G の方向に延ばした直線との交点を K とし、点 K と頂点 D を結んだ線分と辺 CG の交点を L とした場合を表している。

線分 HJ の長さと線分 HK の長さの比が $3:2$ であるとき、立体 $D-HJK$ の体積は何 cm^3 か。

〔問4〕 右の図3は、図1において、頂点 A と頂点 C を結んだ線分 AC の中点を M とし、辺 CG 上にあり $\angle EMN = 90^\circ$ となる点を N とした場合を表している。

線分 CN の長さは何 cm か。

ただし、答えだけでなく、答えを求める過程が分かるように、途中の式や計算なども書け。

図1

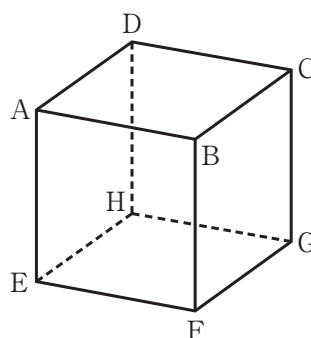


図2

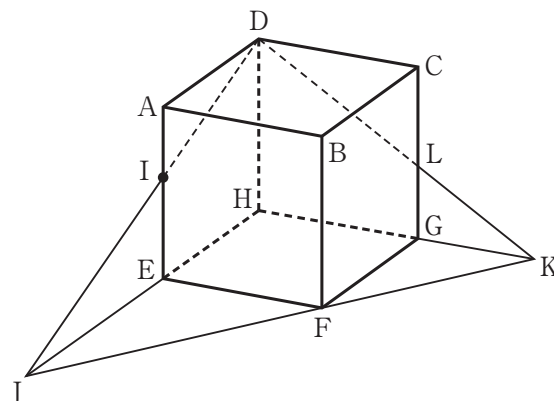


図3

